

安曇野環境フェア2019が台風19号の影響により中止されました

令和元年10月12日(土)、13日(日)の二日間にわたり、安曇野市堀金総合体育館にて開催される予定だった安曇野環境フェア2019は台風19号の影響によりやむなく中止しました。2008年の第1回開催以降、初めての中止ではありますが、環境フェアを盛り上げようとブース出展・イベント企画を準備してくださいました環境市民ネットワーク団体及び関連各所の皆様、誠にありがとうございました。

今年度開催中止の悔しさをばねに、次回の環境フェアをより良いものにしたく思っておりますので、来年度もどうぞよろしく願います。

令和元年度 第1回 環カフェが開催されました

緑のカーテン講座

①「身近な生活のなかで取り組める温暖化対策」

②「緑のカーテンの作り方」～ゴーヤ編～

令和元年6月1日(土) 10:00～12:00

講師①:(株)環境アセスメントセンター 美馬 純一 様

講師②:NPO法人 あづみ野風土舎の皆さま

暑い夏を快適に、エコに乗り切るために、緑のカーテン講座が開催されました。

地球の現状と未来予測や CO₂ の削減目標を説明後、家庭で取り組めることを分かりやすく解説していただきました。

また今回は、ゴーヤで立派な緑のカーテンを育てるコツやゴーヤ茶・漬物などの実ったゴーヤの美味しい利用方法をご紹介いただきました。



安曇野環境市民ネットワーク共催事業が開催されました

『北の国から』倉本聰監修 46億年・地球の道 in 安曇野

令和元年7月13日(土) 9:30～11:00、15:00～16:30

講師:NPO法人 C・C・C 富良野自然塾 中島 吾郎 様

市民ネットワークと市との共催事業として、「46億年・地球の道 in 安曇野」が開催されました。

地球の歴史を460mの距離に置き換えて、地球の変化の壮大な物語や生物の進化についてイラストなどを用いて楽しく見ていきました。

1m歩くごとに1千万年の時が流れる設定で、最後の数センチ手前で人類が登場したことを知った子どもたちからは驚きの声。産業革命後のたった0.02mmの間に地球環境に多大な影響を与えた人類の生き方について、そしてこれからの自分たちの生き方について、考えるきっかけとなりました。



■今後の日程を以下のとおり計画しています。詳細が決まりましたら改めてご案内しますので、ご予約をお願いします。

令和2年 1月下旬	第2回環カフェ
1月30日(木) 15時から	安曇野環境市民ネットワーク運営委員会
2月13日(木) 18時から	安曇野環境フェア2020開催準備会
3月上旬頃	第3回環カフェ
3月上旬頃	安曇野環境市民ネットワーク総会

明科中学校にて実施した総合の時間「ホームタウン明科」の自然観察講座では、安曇野環境市民ネットワーク加入団体の皆様に講師をお務めいただき、次の世代を担う子どもたちへの環境学習にご尽力いただきました。

第1回

安曇野環境市民ネットワーク座長
ほか 講師の皆さま

ホームタウン明科 自然観察講座 開講式

体育館で各講座の講師の紹介・挨拶が行われた後、自然観察講座の会場である第2理科室で開講式が行われました。

自然観察講座の趣旨や日程説明のあと、開校式に出席した講師の方々が、この自然観察講座を通して学んでほしいことを説明してくれました。

特に長野県の自然環境、その中における安曇野市の自然環境の特徴として、標高差のある地形による温度、植生、河川の違い。そしてその違いが様々な生きものの生息を許しているということを説明し、この自然観察講座を通して地域の自然環境や郷土史をしっかりと学び取ってほしいと話してくれました。

第2回

安曇野市 環境課
斉藤 雄太

生物多様性について 御宝田遊水地での野外観察

地球は大きな飛行機であり生物多様性という仕組みが壊れると動かなくなります。在来希少生物のオオルリシジミや外来生物のオオキンケイギクなどの例を挙げつつ、生物多様性保護の大切さについてお話しした後は、御宝田遊水地で野外観察を行いました。ナヨクサフジやハルジオン、ヒメジオン。昆虫や水生生物に加えて、お話で聞いたオオキンケイギクを観察することもできました。



第3回

NPO 法人
信州ツキノワグマ研究会
岸元 良輔

ツキノワグマの生態とその対処法

ツキノワグマについて、実物の毛皮や骨、糞なども展示しつつ、生態と出会ったときの対処法についてお話を聞きました。日本にすむクマは2種類しかいませんが、20年ほど前よりも市街地での目撃が増えているといいます。森林と市街地の緩衝帯であった里山が廃れたことが原因とされています。山へ入るときは鈴などを持ち歩く。出会ったときは走らず、そっと後ずさるなどの対処法がありますが、緩衝帯である里山の保全など長期的な対処も必要がありそうです。



第4回

マイ箸づくりサポートボランティア
安曇野市消費者の会
の皆さま

マイ箸づくり体験
箸入れ・箸袋づくり体験



端材を活用したマイ箸づくりと、不要になった布等を用いた箸入れ・箸袋づくりを行いました。

苦勞してつくったグッズは、味があり愛着がわきます。限られた資源を有効活用して、安易に捨てずに3Rを行うことが、巡りめぐってどこかの地域の森林保護や環境保全に繋がります。身近なものを大切にすることをこれからも持ち続けたいものです。

第5回

NPO 法人
C・C・C 富良野自然塾
中島 吾郎

46億年・地球の道



地球が誕生してから現在に至るまでの46億年という時間を460mに置き換えると、人類誕生は現在の位置からたったの2cm 前だそうです。産業革命はなんと0.02mm 前です。この0.02mm の間に、通常なら数千年～数万年という長い期間で起きる温暖化が急激に起きています。なぜ今の温暖化が問題視されているかを知り、過去は変えられないから未来について考えていく大切さについて学びました。

「地球は子孫から借りているもの」です。

第6回

三郷昆虫クラブ
那須野 雅好

長峰山山頂周辺で昆虫と植物の観察

長峰山山頂はかつて牧草地として利用され、使われなくなった後も地域住民等により草地環境の維持が行われてきました。結果として安曇野市では唯一のまとまった草地環境となり、草地環境を好む動植物が数多く見られる貴重な環境となりました。

この貴重な自然環境を先人達がどのように守り、そして活用していたか、五感で感じ取った野外観察でした。



第7回

安曇野地球温暖化協議会
樋口 嘉一

中学生の考える地球温暖化とSDGs ワークショップ

地球温暖化による集中豪雨増加などの気候変動から公の約束事であるSDGsについてお話を聞いた後に、学んだことについて3班に分かれてワークショップを実施しました。

地球温暖化もSDGsも国際レベルの規模の大きな話題ではありますが、自分たちにできることはたくさんあります。今回は①質の高い教育、②気候変動の具体策、③陸の豊かさを守ることにしてみんなで話し合いました。「電子黒板の導入」「太陽光の利用」「保護区の設置」など意欲的な意見交換が行われました。



第8回

NPO法人
安曇野ふるさとづくり応援団
等々力 秀和

ぬかど炊飯体験

昔ながらの釜を利用してぬかどを燃料に炊飯体験を行いました。お米を炊いている間は田んぼについての知識やもみ殻、ぬかの利用方法についてお話いただきました。もみ殻は薪などと異なり燃焼面積が大きいので、火が回りやすく高温で燃えやすいので、熱が広がりやすいこと。これを釜に利用した場合は熱が徐々に強くなるため、米を炊くことに最適であることなどを教わりました。

炊きあがったお米はモンゴル産の岩塩でおむすびにいただきました。あまりのおいさに家族に持ち帰った生徒もいたようです。



第9回

安曇野建築三会／
建築士会安曇野支部
講師の皆さま

積木ワークショップ



安曇野市は明科地域を中心に松枯れ被害が発生しています。この松枯れについてより興味・関心を持ってもらうために始まったのが積木ワークショップです。松枯れの原因がマツノマダラカミキリムシに寄生するマツノザイセンチュウであることや、松枯れ被害を受けた松も被害の度合によっては建築資材として使えることなどを、積木を使って遊ぶことで学ぶことができました。

第10回

安曇野環境市民ネットワーク 座長
ほか 講師の皆さま

ホームタウン明科 自然観察講座 閉校式

体育館で全体のまとめ会を行った後、第2理科室で自然観察講座のまとめの会が行われました。まず生徒の皆さんから感想を、続いて参加していた講師の方々から生徒の皆さんへ、学生生活に留まらずこれから先の生活について激励のお言葉をいただきました。生徒の皆さんからは「人は周りの環境を変えてしまう生きものだから、自分たちが良い方向へ変えていかなければならない」との感想もあり、環境問題への興味・関心が以前より高まったように感じられました。



番外編

第44回 明中祭(明科中学校文化祭)

9月27日(金)、28日(土)と第44回 明中祭が実施されました。その中でホームタウン明科「自然観察講座」の発表と展示がありました。

全校に向けての発表では「自然観察講座」で行われた野外観察や室内講義の様子、そこで得た地域の自然環境や郷土史に関する情報を紹介しました。

展示では第4回時にマイ箸サポートボランティアと安曇野市消費者の会の皆さまと作り上げたマイ箸、及び箸袋が生徒一人一人の感想とともに展示されていました。

発表からも展示からも、この講座をまんべんなく楽しんでいる姿が伝わってきて、生徒の皆さんと講師の皆さまの双方にとって充実した講座になったとうかがえた文化祭でした。



先生にも生徒にも大変好評でした。ご協力いただいた団体、講師の皆様、誠にありがとうございました。事務局では環境学習の講師にご協力いただける団体・個人を募集しております。こうした機会に生徒たちに指導したいという方がおられましたら、お気軽に事務局までお声がけください。

(安曇野環境市民ネットワーク事務局) 安曇野市役所 市民生活部 環境課

〒399-8281 長野県安曇野市豊科6000番地

電話:0263-71-2492(直通) / FAX:0263-72-3176 / Eメール:kankyou@city.azumino.nagano.jp